

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-		
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・3月から始まった「花・人・土佐であい博」の効果により、土日に来客数が増えた。ファミリー層や学生と全般的に増え、春休みに入ってから来客数がある。		
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・天候にも恵まれて、春物がスタートした。アウターは高額商品が好調で、インナー・パンツの単価も良かった。		
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・今月は、入学や入社などのためのスーツ、フォーマルの動きが良く、前年売上を5%程度上回っている。		
	タクシー運転手	来客数の動き	・春が来て暖かくなり、四国八十八カ所参りが本格化してきた。市内での来客数も増えた。			
変わらない		百貨店（営業担当）	単価の動き	・景気悪化の影響が半年ぐらい前から続き、高額商品の売行きが厳しくなっている。割引セールなどには、来客数があるが、それ以外では厳しい状況にある。		
		スーパー（店長）	販売量の動き	・全体的に商品の値上げ傾向にあるため、売上点数が落ちている。		
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・売上高・単価は前年と比べて上がっているが、買上点数・来客数は減っている。原材料高騰による商品単価と中国産商品の買い控えが要因である。		
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月は決算ということで、通常よりも車がよく売れる月であるが、昨年と同様、今年も販売量が伸びていない。		
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・2～3月は新型車効果もあり、例年に近い販売量になった。お客様からは、景気が良くなった話はないが、悲壮感もない。		
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・2～3月中旬までは来客数も多く、受注も上昇していたが、3月の4～5週目になると、来客数、受注台数共に前年を下回った。		
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・4月からの食品の値上げラッシュのため、注文内容は引き締めている。		
		通信会社（支店長）	販売量の動き	・新生活シーズンで、業界では市場が動く時期であるが低調である。		
		美容室（経営者）	単価の動き	・卒業・入学シーズンであり、来客数の増加は見られるが、客単価は低く抑えられている。		
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローンの返済額を抑えるということで、極力、借入額を低く計画している客が多い。		
		やや悪く なっている		商店街（代表者）	それ以外	・商店街の核店舗、テイクアウトなどの集客力のある店の撤退が止まらない。
				一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・例年より今年は、卒業式や送別会などで使われる花束や贈答用の花の単価が低下している。
一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き			・売上が伸びず、来客数が少ない。		
百貨店（営業担当）	それ以外			・前年同月に比べ来客及び売上共に下回った。ファッション関連商品が紳士・婦人共に苦戦した。催し物も盛り上がりには欠けた。		
スーパー（店長）	お客様の様子			・常連客のほとんどが収入が増えず、ガソリンなどの値上がりのため、食費など日常生活の節約に努めている。		
スーパー（財務担当）	販売量の動き			・日用雑貨、食品の値上がりにより、1人当たりの買い上げ点数が減少しており、来店客数も減少傾向にある。		
乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き			・3月は、販売増となるのが通常であるが、今年はまったく盛り上がりがない。		
一般レストラン（経営者）	販売量の動き			・商品の値上げラッシュにより、1人当たりの買い上げ点数が前年に比べ落ちてきている。		
観光型旅館（経営者）	来客数の動き			・来客数が増えず、昨年と比べても減っている。旅行を手控えており、昔のような卒業旅行も少なくなっている。		
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き			・来客数の減少がずっと続いており、1人当たりの単価も低下している。		
観光名所（職員）	来客数の動き			・来客数の動きが悪く、例年に比べて増えていない。		

		タクシー運転手	お客様の様子	・歓送迎会、花見等が始まるが、出足が悪い。花見等々の送迎がほとんどない。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・民間・官公庁共に、新築建物が非常に少なくなっている。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・当社並びに競争相手とも前年を下回る売上である。受注の低価格化は続いており、利益率が低くなっている。業界では、リストラ、廃業、給与ダウンの悪い話しか聞かない。
	悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店が年度末の盛り上がり欠ける。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・1月以降、客の買い控えが続いている。新学期シーズンにもかかわらず、参考書も前年に比べて動きが鈍い。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	通信業（営業担当）	競争相手の様子	・年度末を迎え毎日担当の中小企業を訪問しているが、次年度に向け、「今が頑張りどころ。」「厳しいけれど将来に向けて手を打つ必要がある。」など、前向きは明るい話題を聞くことが、前年の同時期に比べて1割以上は多くなってきた。
	変わらない	輸送業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・原油価格の高止まりの中で、客への価格転嫁が難しいことに加え、メーカーを中心に運賃の値下げ要請が続いている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・ホテル関連の稼働率が、50%を切っているところが大半を占めており、売上もかなり落ち込んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・電気機械設備の引き合いは、3か月前と変わらずあるが、非常に少なくなっている。そして、受注の段になって単価が下落することも3か月前と変わらない。
	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・重油高、主原料のパルプ、古紙、段ボール、包装資材、薬品とすべて上昇しているが、小売への価格転嫁が十分できない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・引き合いは依然少ない。政局の混迷による道路特定財源の自動車重量税にかかわる車両購入の買い控えの動きもあった。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・クレーンの稼働状況は、例年に比べて悪い。仕事量では、リース業者間において大手と中小の格差に広がりが見られる。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・原油高騰やガソリン暫定税率などの話題が多いため、消費者の買い控えを感じる。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・年度末を控え、貨物量が増える月であるが、2～3日以外は全く盛り上がらなかった。中小の製造業では原材料の高騰を製品価格に転嫁できず、出荷減少も見られた。ドル安・円高とサブプライムローン問題の影響による買い控え・様子もあるが、地方へも波及してきた。
広告代理店（経営者）		受注量や販売量の動き	・得意先の売上不振、先行き不安などによりテレビ広告レギュラー契約を一時ストップしたり、広告費削減の話が多い。	
公認会計士		取引先の様子	・今月の客の試算表、決算書などを見ると、前年比で悪くなっている。ほとんどの業種で、下降傾向である。	
悪くなっている	食料品製造業（従業員）	それ以外	・冷凍食品業界全体が、今回の中国産冷凍ギョウザ問題で悪くなっている。	
	木材木製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・改正建築基準法の影響で、マンション業界が特に悪い。新築がなく、素材・原料が高騰してきた。1戸建てについては、少し着工数が回復してきた。	
	建設業（総務担当）	それ以外	・公共工事の減少などで、経営難に陥っていた地場最大手の老舗企業が倒産した。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・昨年より新規求人が増加しており、正規の求人が増えている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・新卒（特に基礎能力の高い大学生）は中央志向で、県内企業は苦戦している。中途転職者の動きも同様の傾向があり、特に営業職の採用が難しい。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月に比べて、2割減少している。減少幅に増減はあるが、減少傾向は続いている。

やや悪くなっている	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・先行き不安などにより、派遣利用の終了を申し出てくる客が増加している。
	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・3月末で契約終了となる件数に対して、4月以降に契約する件数が大幅に少ない。
	民間職業紹介機 関(所長)	求人数の動き	・求人数が減少傾向にあり、業種間格差はあるが、企業活動に疲弊感が感じられる。採用活動も鈍くなっており、現状の人員で対応しようとする傾向が見られる。
悪くなっている	-	-	-